

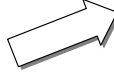
備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	06-01-12-03
事務事業名	吉永総合支所維持管理事業		
事業開始年度	平成17年度	根拠法令・要綱等	備前市支所及び出張所設置条例
総合計画	大項目 基本目標	健全で自立したまちづくり	問合せ先
	中項目 基本施策	簡素で効率的な行財政運営	担当課(室)
	小項目 施策	その他事務管理(財産管理)	職・氏名
			電話
			0869-84-2513

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	職員及び来庁者
目的(何のために)	吉永総合支所の適正な維持管理を行う。
行政活動(どのような方法で)	吉永総合支所維持管理のための委託事業や日常の点検補修を行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	来庁者へのサービス及び職員の職場環境向上を図りながら支所維持管理費の節減に努める。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	通常維持管理経費	千円	12,922	10,703	11,511
	直接事業費		9,062	12,171	9,946
	人件費	千円	3,960	2,825	1,565
	事業費計		13,022	14,996	11,511
	国県支出金				
	受益者負担	千円		82	96
	一般財源		13,022	14,914	11,415
	必要人員	人	0.40	0.30	0.23
	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
通常維持管理経費	説明				
結果指標	結果指標量	12,922,000	10,703,000	11,511,000	
	対前年比%	-	82.8%	107.5%	
	活動コスト	13,022,000	14,914,000	11,415,000	
	単位当たりコスト	9,701	8,035	8,642	
結果指標	結果指標量				
	対前年比%				
	活動コスト				
	単位当たりコスト				

事業の成果			
成果指標名	m ² 当り維持管理コスト	式又は説明	通常維持管理コスト/延べ床面積 (11,511,000円/1,332m ²)
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	9,701	8,035	8,642
対前年比		82.83%	107.55%
到達目標値	可能な限り節減する	到達目標年度	毎年度



事業の目的、対象、内容、コストを考慮しながら目的の達成性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	C
目的	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
		<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
		<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
		<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
行政活動	行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	支所庁舎・別棟共老朽化が著しい。今後修繕コストが嵩むことが予想されるため大規模修繕とならないよう日々点検を行い早期の対応に努める。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
		<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
		<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
市の関与	市の関与	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい	効率性評価<A-E>	C
		<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
		<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
		<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい		
コスト	コスト	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難	課題認識	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
		<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
		<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
手	手	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	19年度において通常維持管理経費が増えているが、これは省エネルギーサービス事業委託によるものであり、これを除くとほぼ横ばいである。今後清掃等維持管理業務委託の見直しを行うなど節減に努力する。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
		<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
職	職	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	有効性評価<A-E>	C
		<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
		<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上の見込みである		
		<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
目的達成度	目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	課題認識	
		<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
		<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
		<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	漏漏水点検を定期に実施し経費節減に努める。	
		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する		
		<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する		
		<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する		

平成20年度の状況		説明	高熱水費に重点を置き節減に努める。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	10,700,000円	結果指標量
	成果指標量		8,033円

総合評価		評価区分<A-E>	C	
組織として必要な業務であり、概ね良好に実施できていると考えるが節減に向け継続して取り組む。				

平成21年度以降の方向性		説明	平成20年度で真正・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する		

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	委託業務等について、職員で出来るものの検討を行う。	21年度末	維持管理経費節減